

公開講座シンポジウム

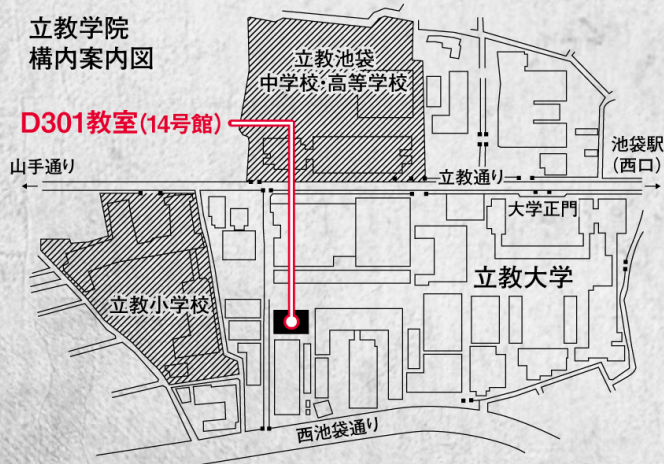
戦後日本の探偵小説雑誌『宝石』と

タイムテーブル

- 13:00~13:10 趣旨説明
- 13:10~13:30 1946年／金田一耕助、登場
石川 巧 (立教大学)
- 13:30~13:50 1947年／探偵小説界の組織化と拡張の野望
金子明雄 (立教大学)
- 13:50~14:10 1948年／〈移動〉の表象と言説
川崎賢子 (清華大学)
- 14:10~14:30 1949年／新人作家をめぐる隘路
山口直孝 (二松学舎大学)
- 休憩(10分)
- 14:40~15:00 1950年／岐路にさしかかった「探偵小説」
谷口 基 (茨城大学)
- 15:00~15:20 1951年／ラジオと映画と探偵小説
浜田雄介 (成蹊大学)
- 15:20~15:40 1952年／風俗とジェンダーの狭間で
小松史生子 (金城学院大学)
- 休憩(10分)
- 15:50~16:10 ディスカッション
戸川安宣 (編集者)
- 16:10~17:00 ディスカッション

2022年9月4日(日) 13:00~17:00

立教大学池袋キャンパスD301教室(14号館)



【主催】立教大学文学部文学科
 【共催】立教大学日本文学会、立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター、科学研究費(基盤研究B)「近代日本探偵小説研究の基盤整備:資料の調査・保存・公開とその活用」(代表:浜田雄介、2019-2022)
 【参加費】無料(どなたでも参加いただけます。事前予約の必要はありません。)